

いわみの
(益高だより)

令和6年3月号
(第174号)

令和6年3月22日
島根県立益田高等学校

校長 阿部 敦子

令和5年度、これまでと大きく異なったのは新型コロナウイルス感染症の第5類への移行です。新型コロナウイルスが未知であった期間は、3密（密閉、密集、密接）を避け、校歌を歌う声も学校から消えた期間でした。益田高校校歌の歌詞は、詩人佐藤春夫氏が森鷗外の句碑除幕式出席後、津和野町から本校に立ち寄られ、帰りの列車で一気書き上げられたと聞きます。当時の学校周辺の恵まれた自然環境、美しい高津河畔、正門前の湿田に咲く蓮の花に強く印象付けられたそうです。蓮は泥水から生まれながらも、真っすぐに伸び、高貴な花を咲かせます。苦労や困難や悲しみがあればこそ、そこから立ち上がった後には清らかな大輪の花があるのだと我々の校歌が歌っているのです。“濁りに染まぬ蓮植ゑぬ”この校歌を、胸を張り益高生の誇りをのせて、声高く歌える毎日を送っていきましょう。

教務部長 山田 忠幸

新学習指導要領が施行して2年が経ち、授業風景や生徒のスキルに明らかな変化がみられるようになりました。殆どの授業でグループワークやペアワークが日常化し、協働して疑問を解決していくスタイルが定着しました。授業中に居眠りする生徒は激減しています。一人一台端末を利用して、課題の提出やインターネットによる調べ学習、スライドの作成などを当たり前に行うなど、数年前には考えられなかった状況です。（一方で、端末忘れや故障、黙って聞く授業が苦手など新しい課題はありますが…）

さて、観点別評価から見えてきた傾向があります。通知表に「ABA」が多くないですか？これは、「思考力・判断力・表現力」を鍛えなさいというメッセージです。文科省は、「思考力とは学習で得た知識や技能を活用して、実際に課題の解決について考える力」としています。結局、知識や理解を前提にしているのです。思考力を問うために、模試や入試では、初見の資料や膨大な文章、会話文を使った出題が増えました。それらに対応するために、まずは授業内容を100%理解して、しっかり議論を重ねてほしいと思います。令和6年度も共に励みましょう！

進路指導部長 小笠原 正林

令和5年度の進路指導が終わろうとしています。

3年生においては、多くの生徒の進路先が決まり、4月からの生活に期待に胸を膨らませていることでしょう。3年生の皆さんにとってこの益田高校で頑張ってきたことは必ず将来の財産になると信じています。進路実現を果たすために朝早くから登校し、放課後遅くまで残って勉強をしていたこと。面接試験や小論文試験に向けて、必死になって主体的に努力していたこと。長期休業中や連休にも関わらず、多くの補習を受講し、どの科目も手を抜くことなく努力し続けたこと。これらのことは、皆さんにとって、必ず財産となります。そう信じています。

1・2年生においては、入学時より進路実現に向けた取り組みが、ありとあらゆる場面で行われていたことに気づいているでしょうか？校外での様々な研修や、進路に関する講演会や補習も含めたすべての行事ももちろんそうですが、日々の授業や部活動、毎日10分間の清掃などすべての益田高校での活動が、進路実現に向けた取り組みです。そしてこうした取り組みに生徒の皆さんが主体的に必死になって取り組んでくれるかがとても重要です。

来年度もまた、生徒・保護者・教員一丸となって第1志望合格率100%を目指して頑張ってください!!皆さんの健闘を祈ります。

※今年度の進路実績は、後日昇降口に掲示しますので是非見てみましょう。

artⅡ Graduation Work

美術Ⅱ選択者の作品を昇降口に展示しました。



退職される方

奥野 晴之 先生(教頭・数学)

2年間の益田高校での勤務は私にとってとても良い時間でした。生徒の皆さんのひたむきに目標に向かって努力する姿に、毎日元気をもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

皆様のこれからの学校生活がさらに良いものとなることを、そして益田高校が今以上に素敵な学校になることを願っております。お世話になりました。ありがとうございました。

石田 知 先生(事務)

2年と半年という期間でしたが、益田高校での仕事を経験する中で、学ぶことが多々あり、成長させてもらいました。ありがとうございました。失敗は宝という言葉があります。益高生の皆さんは、これからも色々な失敗を経験されると思いますが、失敗に対して悩み考え解決することで、自分の力になっていきます。この力が宝です。これからも、どんどんチャレンジし、失敗から宝を手に入れて下さい。応援しています。

転任される方

森川 政広 先生(事務長)

3年間、事務長として益田高校の皆さんの教育環境整備等に從事させていただきました。

赴任時、校舎等の老朽化が酷く、「何とかしなければ」と感じたことが昨日のこのように思い出されます。それからは、日々、少しずつでも綺麗な学校になればと思いながら過ごしていました。まだまだ、やり残した箇所が多いのが心残りです。

直接、皆さんと関わる機会は少なかったですが、益高生は「礼儀正しく」、「勤勉」で「素直」な生徒が多いと思います。

これからも益田高校の伝統を守りながら、日々の学校生活を送ってください。ありがとうございました。

武藤 立樹 先生(主幹教諭・地歴公民/公民)

益高には3年間勤務させていただきました。勉学に部活に真摯に取り組む益高生の姿に学ばせていただきました。益高に勤務させていただいたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さらなる高みを目指して生徒のみなさんが日々精進されることを祈念して次の言葉を贈ります。どうぞみなさん、お元気で。

「最高の勝利は自分を乗り越えること」 プラトン

俵 伸之 先生(国語)

高校生の頃、益高で一番好きだった場所は、美術室を出て階段を二階へと降り始めるところだった。2段の窓によるあの解放感は格別なものだと、今改めて感じている。そうした記憶がよみがえったのも、美術部副顧問に偶々なったおかげかなと思っている。3年間、いろいろとありがとうございました。

柿田 訓宏 先生(地歴公民/世界史)

4年間、大変お世話になりました。生徒のみなさんとの何気ない会話がとても楽しかったです。益田高校で勤務できて本当によかったです。ありがとうございました。みなさんの今後のさらなる活躍を期待しています！

大濫 貴巳 先生(地歴公民/地理)

最近読んだ本の一部を皆さんに送る言葉とします。

「迷い悩んだ時や、うまくいかない時には、ぜひ一人の時間を作ってみてください。自分と向き合い、何が足りないのか考え、克服するために今より少しだけ頑張る。それを続ければ、今が苦しくても、絶対に幸せな日が訪れます。」(『栄光のバックホーム』より引用)



松田 有平 先生 (数学)

益田高校に赴任して4年が経ちました。益田での4年間を振り返ると、学校・剣道・天心の3つに支えられており、とても充実していました。(笑)今では益田が第2の故郷となり、この地を離れることに寂しさを感じます。

私にとって、別れとは一番苦手なものです。また会いましょう。

2年生! 剣道部! 大好きです。ありがとうございます。

橋本 優 先生 (数学)

1年間お世話になりました。授業や行事等を通して皆さんと関わることができ、とても楽しかったです。部活動や勉強に熱心に取り組む皆さんに、たくさんのパワーをもらいました。この先、大変なこともあると思いますが、物事を前向きにとらえ、様々なことに興味を持ち、多くの人と関わり、有意義な学校生活を送ってほしいと思います。皆さんの活躍を楽しみにしています。

和崎 葵 先生 (理科/物理)

みなさんと過ごした1年はあっという間で、とても充実したものでした。勉強や部活、課題探究・課題研究など日々忙しい中でも、一所懸命に取り組むみなさんの姿を見て、私自身勇気づけられていました。少し離れた場所からにはなりますが、みなさんの成長を応援しています。

白上 真飛 先生 (理科/化学)

あっという間の1年間、生徒たちや先生方から様々なことを学ぶ日々でした。未熟な所が多く中々期待に応えられないこともありましたが、益田高校で過ごした時間すべてが自分の成長に繋がっていると感じています。また戻ってくる時に、より成長した姿を母校に見せられるよう、これからも頑張っていこうと思います。短い期間ではありましたがお世話になりました。

中村 展久 先生 (保健体育)

5年間の勤務の中で、制服のリニューアルに関わったり、市民体育館で演劇をしたりとこれまでにない経験をたくさんさせていただきました。母校で日々楽しく素敵な時間を生徒の皆さんと過ごさせてもらい、本当にありがとうございます。これからも益田高校を応援していきます!

三成 俊介 先生 (芸術/音楽)

益田高校での4年間は本当に幸せな時間でした。素直な生徒のみなさん、頼れる教職員のみなさんに恵まれたからだと思います。元気が一番大事です。みなさんお元気で。4年間ありがとうございます。

和崎 陽子 先生 (英語)

あっという間の6年間でした。勉強や部活に一生懸命取り組み、壁にぶつかってもなんと乗り越えようと努力する皆さんの姿に、勇気と刺激をもらい続けました。キヌヤで会ったら声かけてくださいね。これからもみなさんのことを応援しています!

齋藤 大雅 先生 (英語)

益田高校5年間で、私も様々な経験をさせていただきました。ありがとうございます。今後はOBとして、益高生を応援します。充実した高校生活にしてください。

澤江久美子 先生 (家庭)

念願だった母校で勤務することができ、とても幸せな7年間でした。皆さんの笑顔や明るさに助けられながらとても充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。今後は益高OGとして、地域住民の一人として皆さんの活躍を見守り、応援していきたいと思えます。

曾根 裕子 先生 (学校アシスタント)

大変短い間でしたが、ありがとうございます。顔を見掛けて、笑顔で挨拶していただけるのが、とても嬉しかったです。

どうかこれからも自分を大切に、周りの人と頼り頼られながら、遊びや学びでいっぱいの日をお過ごしください。

R6年度の第1学期始業式は4月8日(月)です。皆さんの登校を待っています。

益田高校ホームページ <https://www.masuda.ed.jp/>

益田高校インスタグラム https://www.instagram.com/masuda_high_school/